

～この春就職された方から～

御園 敬介（福岡女子大学）

2011年4月1日に福岡女子大学国際文理学部に着任いたしました。一橋大学に在学中は森村ゼミに所属し、2010年3月に博士課程を修了後、1年間ジュニアフェローとして大学に残りました。専門は思想史で、近世フランスにおけるジャンセニズムを研究テーマとし、その歴史的展開と思想的意義を明らかにすることを目指しています。

福岡女子大学は、全国で最も古い公立の女子大学です。昨年度までは文学部（英文学科・国文学科）と人間環境学部の二学部で運営されてきましたが、本年度から大幅に大学改革がなされ、旧二学部は国際文理学部 International College of Arts and Sciences として一学部に統合され、国際教養学科 Department of International Liberal Arts、環境科学科、食・健康学科という三つの学科に分けられました。この過程で教員や学生の数が大幅に増加し、大学は一つの転機を迎えているようです。私の所属は国際教養学科の欧米言語文化コースと呼ばれる部門で、担当授業は、第二外国語としてのフランス語、フランス文化についての講義・講読、及び歴史、宗教、倫理に関する学部共通の基礎科目です。

一橋大学の博士課程には10年間在籍し、その間8年近くフランスに留学していましたが、落ち着いて勉強に専念できる時間を長く持てたことは幸せでした。新しい大学に赴任してまだ日が浅く、慣れない仕事が続きますが、一橋大学で学んだことを生かしつつ、研究と教育に邁進する所存です。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞ宜しくお願いいたします。